第3学年 社会科学習指導案

日 時 令和3年9月3日(金) 子ども 3年

I 単元名

はたらく人とわたしたちのくらし ~店ではたらく人と仕事~ (教育出版「小学社会3」)

<授業の見どころ>

資料から読み取ったことや友達の考え をつないで、考えをまとめることができ るような発問と資料提示を行います。

Ⅱ 単元の指導構想

1 単元について

○ 子どもたちは、前小単元において、地域に見られる生産の仕事としてりんご農家について学習してきており、りんごの作り方、工夫、りんごの流通経路、りんご農家の願いや悩みなどについて学習を行い、仕事の様子についてとらえることができた。この学習を通して子どもたちは、地域の人々と仕事の様子について関心を高めてきている。

しかし、学習経験の少なさから、単元の学習問題を解決するために単位時間ごとの問いを追究しようとする姿や社会との関わりを意識して学習に臨む姿はあまり見られなかった。これからの指導においては、子どもたちが単元全体を貫く問題意識をもつことや社会との関わりを意識して問いを追究することができるような指導を行っていく必要があると考える。また、資料から読み取ったことを基にして、社会的事象の意味や関連、自分たちの生活とのつながり、社会との関わりについて考えていく力を育んでいきたい。

○ 本単元は、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえて売り上げを高めるために工夫して行われていることを理解するとともに、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え表現することをねらいとしている。

本単元では、販売の仕事としてスーパーマーケットを扱う。私たちの身の回りには様々な種類の商店があるが、なかでもスーパーマーケットは日常的に多くの人が利用している商店であり、消費者の視点、販売者の視点の両方から販売の仕事についてとらえることができる教材である。スーパーマーケットは、売り上げを高めるために、ちらしで特売品を宣伝したり、タイムセールを行ったりするなどの商品の値段に関わる工夫や、商品を小分けにしたり、国内だけでなく世界各地から商品を仕入れ、販売したりするなどの品揃えに関する工夫を行っている。また、産地や生産者、消費期限をラベルに表示するなど、消費者が安全に買い物をすることができるような工夫も行っている。さらに、駐車場、駐輪場を設けたり、リサイクルコーナーを設置したりするなど、店に来た人にとっての利便性を高める工夫も行っており、販売者は消費者のニーズに応え、売り上げを高めるために様々な工夫を行っている。また、多くの人が日常的に利用するごく身近な存在であるが、商品の仕入れは、地域だけでなく、国内、海外の様々な地域から行っているため、自分たちの地域と他地域との関わりについても気付くことができる教材である。

○ 指導に当たっては、次の二点に留意する。

一点目は、**概念的な知識の獲得へ向けた単元構想【手立て1】**についてである。単元全体を通して獲得させたい概念的知識へ向かうため、各単位時間において獲得させたい用語・語句、具体的な知識を明確にして授業を展開していく。また、各単位時間において働かせる社会的事象の見方・考え方を明らかにし、その見方・考え方を働かせて、単元を貫く学習問題を追究できるようにしていく。

二点目は、社会的事象の見方・考え方を働かせる発問・資料提示【手立て2】についてである。まず、単元の導入では、買い物調べの結果を提示し、家の人がたくさんスーパーマーケットを利用していることをとらえることができるようにする。身近な存在であるスーパーマーケットであるが、何か販売の工夫がありそうだという問いをもたせられるような発問と資料提示を行うことにより、学習問題を子どもたちにとって切実感や必要感のあるものにしていく。全校研究とのつながり「つなぐ」

次に、各単位時間の追究においては、社会的事象の見方・考え方を働かせることができるような資料提示と発問を行う。 特に、1単位時間の後段においては、問題解決に必要な情報を資料から読み取ったり、友達の考えをつなげたり生かしたり して学習問題に対する自分の考えをもつことができるようにする。また、学習問題に対するまとめにおいては、必要な情報 を選択し根拠として使いまとめることができるようにしていく。全校研究とのつながり「えらぶ」「つかう」

最後に、単元の終末においては、単元を通して獲得してきた具体的な知識をつないで、単元を貫く問いへの答えをまとめることができるようにする。**全校研究とのつながり「つなぐ」「つかう」**

以上の二点に留意しながら、子どもたちが自分たちの生活との関連を意識しながら、主体的に問いを追究していくことができるように授業を展開していく。

単元の目標

地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、販売に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う

単元の評価規準

知識・技能

①消費者の願い,販売の仕方,他地域や外国との関わりなどについて,見学・調査したり地図などの資料で調べたりして,必要な情報を集め,読み取り,販売に携わっている人々の仕事の性子を理解している。

様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、エ 大して行われていることを理解している。

思考・判断・表現

①消費者の願い,販売の仕方,他地域 や外国との関わりなどに着目して,問いを見いだし,販売に携わっている 人々の仕事の様子について考え,表現 している。

②観点を設けて、販売の仕方を分類したり、販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けたりして、販売に見られる工夫について考え、表現している。

主体的に学習に取り組む態度

①地域に見られる販売の仕事について, 予想や学習計画を立て, 学習を振り返ったりして, 学習問題を追究し, 解決しようとしている。

復興教育との関連

○かかわる「⑩地域とのつながり」 地域に見られる販売の仕事につい て,自分の生活との関わりを考えら れるようにする。

資質能力の高まり

他教科・領域等

総合 3年「学区の安全とそれに関わる施設と人々」

・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりする。

算数 3年 10月「小数」
・小数の表し方や仕組み、加減法の計算方法を、<u>友</u> 達の考えと比較したり、関連付けたりして考える。

行事 3年 10月「全校音楽集会」 ・よりよい合唱を目指して練習に取り組むことを通 して、目指す姿に向かって自分たちにできることを 考え、活動する。

「わたしたちのまちと盛岡市」

科

Ö

学習

内

「市の人たちの仕事」

「安全なくらしとまちづくり」

3年4・5月 「まちの様子」

3年5・6月「盛岡市の様子」

小単元 3年6・7月 「りんごをつくる仕事」

目標

地域に見られる生産の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめ、生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

本小単元 3年8・9月 「わたしたちのくらしと店の仕事」 目標

地域に見られる販売の仕事について、 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国 との関わりなどに着目して、見学・調査し たり地図などの資料で調べたりしている 地図などにまとめ、販売に携わっている 人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々 の仕事の様子をとらえ、それらの仕事に 見られる工夫を考え、表現することを通 して、販売の仕事は、消費者の多様な願い を踏まえ売り上げを高めるよう。工夫に するとともに、主体的に学習問題を追究・ 解決しようとする態度を養う。 3年10月

「火事をふせぐ」

3年11月 「交通事故を ふせぐ」

他教科·領域等

児童会活動 3年6・7月「やってみる」の取組 ・<u>自分たちの生活向上のために必要なことを考え、取組を決めて活動する</u>ことを通して、よりよいものを目指して行動する力と取り組む楽しさを感じる。 総合 3年 | 学区の安全とそれに関わる施設と

・目的に応じて、必要な情報を収集、選択する。

算数 3年 6月 | 長い長さをはかって表そう」 ・ものの長さに着目し、適切な計器を用いて測定 したり、適切な普遍単位を使って長さを表したり すること通して、自分の考えの解決に向けた見通 しをもって活動することができる。

見方・考え方を働かせるポイント

- ○子どもにどのような問いの意識をもたせるか を明確にして発問や資料提示を行う。
- ○社会的事象の見方・考え方を明確にし、それ らを働かせることを意図した発問や資料提示 を行う。

願い

・身近にある仕事について詳しく知りたい。

ı

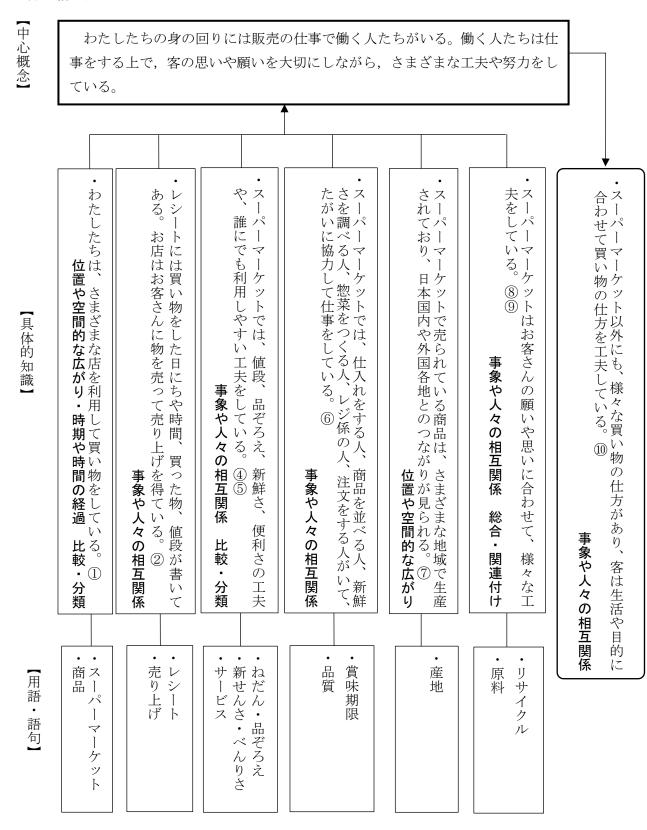
・資料から詳しく読み取った ことから、学習問題につい て考えたい。

教科のカ

- ○社会科の学習に前向きに取り組んでいる子どもが多い。
- ○視点に基づいて、資料を読み取ることができるようになってき
- ●資料からの情報を取り出すことと、そこから何が分かるかを考える経験が少ない。

子どもの実態

3 知識の構造図



4 単元の指導及び評価の計画(全10時間)

時	ねらい 働かせる見方・考え方		◆研究の手立て	重点	記録	【評価規準】(評価方法)
1	●別がとる光力・名えり ○買い物調ベカードを集計し、店の位置や行った回数に着目して、店の分布や多くの人が行った店をとらえ、表現できるようにする。 位置や空間的な広がり・時期や時間の経過 比較 分類		【手立て2】 社会的事象の見方・考 え方を働かせる発問・ 資料提示 ◆子どもに意外性や驚 きをもたせ、生活経	思		【思一①】(ノート、発言) ・「買い物調べで調べたことを地図 や表、グラフに整理し、その情報を もとに気付いたことや疑問点を発表 し合っているか」を評価する。
2	○レシートに着目し、買い物情報や店が売り上げを高める工夫をとらえ、学習問題をつくることができるようにする。 事象や人々の相互関係 スーパーマーケットではたらく人たちは、売りのようなくふうをしているのだろう。) 上防	験と既習を結び付け ることができる資料 提示と発問を行う。 →【つなぐ】 ずを高めるために、ど	思	0	【思一①】(ノート、発言) ・「レシートの情報から買い物の状況について調べ、そこから分かったこと・疑問に思ったことをまとめ、学習問題をつくっているか」を評価する。
3	○学習問題について予想して、販売の仕事を 調べる学習の見通しを立てることができる ようにする。 事象や人々の相互関係 比較 総合		【手立て1】 概念的な知識の獲得へ 向けた単元構想 ◆「個別的な知識」と 「概念的な知識」	態		【態-①】(ノート、発言) ・「店の売り上げを高める工夫につ いて予想し、学習の見通しを立てて 主体的に追究しようとしているか」 を評価する。
5	○売り場の工夫や仕事の様子や気をつけていることをとらえることができるようにする。事象や人々の相互関係比較 分類		のつながりを明確 にし、単位時間ご とに働かせる社会 的事象の見方・こう え方を明らからます。	知		【知一①】(ノート, 発言) ・「値段・品ぞろえ・新鮮さ・便利さなどの視点にもとづいて, 店の売り場の様子を観察しているか」を評価する。
6	○スーパーマーケットで働く人の仕事の様子 や気を付けていることをとらえることがで きるようにする。事象や人々の相互関係		る。(3 知識の構造 図参照) 【手立て2】 社会的事象の見方・考 え方を働かせる発問・ 資料提示	知		【知一①】(ノート, 発言) ・「スーパーマーケットには, さまざまな仕事があり, それぞれ工夫したり協力したりしながらはたらく人がいることを理解しているか」を評価する。
7	○商品の仕入れ先に着目し、それらが国内や 外国にわたっていることを白地図にまとめ て、他地域と関わっていることをとらえる ことができるようにする。位置や空間的な広がり		◆問題解決に必要な情報を資料から読み取ったり,友達の考えをつなげたり生かしたりして	知	0	【知一②】(地図) ・「産地調べや白地図作業をもとに、 食品を通じた他地域との広範囲なつ ながりを理解しているか」を評価す る。
8	○客や家の人の買い物の仕方に着目し、商品 を買うときの願いをとらえ、それらに対応 した店の取組について考えることができる ようにする。 事象や人々の相互関係 総合 関連付け		自分の考えをもつ ことができるよう にする発問と資料 提示を行う。 →【えらぶ・つなぐ】	畇	0	【思一②】(ノート,発言) ・「客の買い物の工夫と,店の販売の くふうがそれぞれ対応・関連してい ることに気付き,適切に表現してい るか」を評価する。
9	○店の仕事は客の願いを踏まえて売り上げを 高めるよう工夫していることについて,関 係図づくりを通じて考え,表現できるよう にする。 事象や人々の相互関係 総合 関連付け		【手立て2】 社会的事象の見方・考 え方を働かせる発問・ 資料提示 ◆単元の学習問題に 立ち返らせ、学んで きたことをつなぎ、	思	0	【思一②】(関係図,発言) ・「これまでの学習を総合的にふり 返り,お客の願いと店の工夫を関連 づけ,関係図に適切に表現している か」を評価する。
10	○スーパーマーケット以外の店の買い物の仕 方に着目し、それぞれの利点をとらえ、よ りよい消費行動について意識をもてるよう にする。 事象や人々の相互関係		単元を貫く問いへの答えをまとめることができるようにする。 →【つなぐ・つかう】	態		【態一①】(発言,ノート) ・「スーパーマーケット以外の店や 販売方法について調べ,今後の買い 物行動や態度に生かそうとしている か」を評価する。

Ⅲ 本時の指導

1 目標 客や家の人の買い物の仕方から、商品を買う時の願いをとらえ、それらに店はどのように 対応しているかを考えることができるようにする。

2 証価担準

2					
評価の観点	評価方法と評価規準	期待する記述例	努力を要する状況の児童への手立て		
	発言とノートの記述内容から,	お店は、お客さんの願いをかな	店の工夫を例示し、その工夫が		
	「客の買い物の工夫と,店の販売	えて気持ちよく買い物をしてもら	客にとって何がよいのかを具体的		
思考・判断・表現	の工夫がそれぞれ対応・関連して	えるように様々な工夫をしてい	に考えることができるようにす		
	いることに気付き,適切に表現し	る。お客さんは、そのようなお店	る。		
	ているか」を評価する。	を選んで買い物に行く。			

3 展開(8/10時)

3	展開(8/10時)			
段	学習活動	時	◆研究にかかわる手立て	• 留意点
階	○発問 <見方・考え方>	間	予想される子どもの反応	【評価】
問題の把握	 1 家の人がどのようなことに気を付けて買い物をしているのかを発表し合い、学習問題を設定する。 【資料】(実物)各家庭で買い物の際に気を付けていることに関する資料(ちらしや値札など) ○ お客さんやお家の人はどのようなことに気を付けて買い物をしているのでしょう。 	12 ・	【手立て2】 社会的事象の見方・考え方を働か 世名発問・資料提示 ◆子ども達の生活経験と本時で扱 う社会的事象をつなぎ、問題意 識をもつことができるようにす る。→【つなぐ】 ・値段に気を付けています。 ・どこで作られたかに気を付けています。 ・新鮮さに気を付けているそうです。	・買付関ちこ願るう数の順夫でし題でにこ物し費をきるのが、一般をはいこに師中いとの、大いのののでは、いいのののでは、いいのののでは、いいののでは、いいのののでは、いいののでは、いいののでは、いいのののでは、いいのでは、いいのでは、いいののでは、いいのでは、いいのでは、いいいのでは、いいのでは、いいののでは、いいの
	だろう。 2 客の願いと店の工夫の関連について予	8		ができるようにす る。 ・予想を問う際には,
	想し、話し合う。 ○ お客さんの願いに応えるために、お店はどのような工夫をしているでしょうか。 <事象や人々の相互関連>	0	・値段を安くしたり、値引きをしたりしていると思う。 ・新鮮な物を売るようにしているんじゃないかな。 ・細かく分けて売っていると思う。	根拠を述べさせる。 ・ 追究の視点を整理し、学習の見通しをもつことができるようにする。
問題の追究	3 資料をもとに、客の願いと店の工夫の関連について調べ、発表する。 ○ お客さんの願いに応えるために、お店はどのような工夫をしていましたか。 <事象や人々の相互関連> 【資料】(写真) 「広告のちらし」 「消費期限を表す日づけ」 「つくった人のわかるシール」 「カットした野菜」 「リサイクルボックス」 「有料レジぶくろのカード」		【手立て2】 社会的事象の見方・考え方を働か 世る発問・資料提示 ◆資料の中から学習問題解決に必要な情報を選び出す。 →【えらぶ】 ・「安く買いたい」という願いを 叶えるために、ちらしを作って います。 ・「安全な食品を買いたい」とい う願いを叶えるために産地や作った人が分かる表示をしています。 「「手立て2」 社会的事象の見方・考え方を働か 世る発問・資料提示 ◆資料をもとに調べたことの中か ら問題解決に必要な情報を選 び、根拠とし、答えを導く。	・消費者の願いと販売側の工夫との関連がとらえやすいような板書を行う。
	4 スーパーマーケットの方の話を聞き、調べたことについて確かめる。	5	→ [\(\hat{\chi}\) \(\chi\) \(\hat{\chi}\) \(\	田字、圳岭、丰田
	5 客の願いと店の工夫が関連している意味について考える。○お客さんの願いとお店の工夫がつながっているのはなぜでしょうか。<総合・関連付け>	5	・お客さんの願いを叶えるために工夫をしているから。 ・お客さんの願いをかなえるとたくさん買ってもらえるから。	思考・判断・表現 【評価】 「消費者には様々なニ)一ズがあり,販売者はそ れらに対応しているこ とを考え,両者のかかわ りを考えているか」を評 価する。 (発言・ノート)
まとめ	6 振り返り○ 今日の学習問題について,分かったこと や考えたことを書きましょう。	5	・お店の工夫はお客さん の願いとつながってい ることが分かった。 ・お客さんは気持ちよく 買い物ができるお店に 好んで行くんだろう な。	 ・2段落構成で振り返りを行う。 (1段落目) ・学習問題に対する答え (2段落目) ・学習感想